

## 大阪中之島美術館

### Osaka Directory 7 Supported by RICHARD MILLE 小松 千倫

#### 開催のお知らせ

大阪中之島美術館では2024年11月16日（土）から12月15日（日）まで、関西・大阪21世紀協会との共同主催により、関西ゆかりの若手アーティストを個展形式で紹介するシリーズ「Osaka Directory Supported by RICHARD MILLE」の第7弾として、小松 千倫（こまつ・かずみち）の個展を開催いたします。

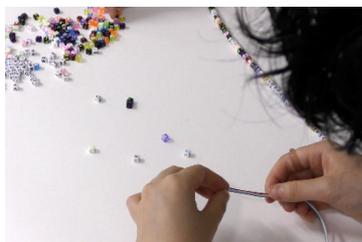
今回、小松は1970年の大阪万博のパビリオン「せんい館」から着想を得て、音とともに集い離散する人々の在り方を「ソフトレイヴ」と呼び、捉えようと試みます。1970年の大阪万博は音響システムや野外ライブが普及するきっかけの一つと言われており、「せんい館」でも音と映像を用いた前衛的な展示が行われました。しかし当時の鑑賞者は、作り手の意図とは関係なく、勝手気ままにパビリオンを楽しんだようです。小松は、こうした人々の自由さも含めた大阪の文化史と、千里丘陵や淀川水系といった地形を重ね合わせつつ考察し、鑑賞者のための空間を生み出します。



#### ■ 展覧会概要

タイトル	Osaka Directory 7 Supported by RICHARD MILLE 小松 千倫
会期	2024年11月16日（土） - 12月15日（日）
開場時間	10:00 - 17:00
休館日	月曜日（開館日は開場）
会場	大阪中之島美術館 2階 多目的スペース
主催	大阪中之島美術館、公益財団法人 関西・大阪21世紀協会
Supported by	RICHARD MILLE
協賛	サントリーホールディングス株式会社、ロート製薬株式会社、西日本電信電話株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社丹青社、西尾レントオール株式会社
観覧料	無料
お問い合わせ	06-4301-7285（大阪市総合コールセンター）

■ 参考作品



(左から) 《Sucker》2023年 撮影：竹久直樹、《Day 7》2022年 撮影：来田猛、「光年」パフォーマンス 2024年、作品制作中の様子 2024年、芸宿の会場風景 2024年

## ■ 作家プロフィール



### 小松 千倫（こまつ・かずみち）

1992年、高知県生まれ、京都府在住。音楽家、美術家、DJ。2022年、京都市立芸術大学大学院美術研究科メディア・アート専攻博士後期課程修了。これまでに国内外の様々なレーベルより複数の名義で膨大な数の音源をリリースしている。また、インターネット上の様々な情報とそれに隣する身体の関係、その記憶や伝達の数値にまつわる諸技術について光や声を用いて作品制作・研究を行なっている。主な個展に「FAKEBOOK」（Workstation、東京、2016年）、「Sucker」（The 5th Floor、東京、2023年）、主なグループ展に「惑星ザムザ」（牛込神楽坂、東京、2022年）、「Study：大阪関西国際芸術祭2023」（船場エクセルビル、大阪、2023年）、「コレクション展2：電気-音」（金沢21世紀美術館、石川、2023年）など。

## ■ 関連プログラム

\*イベントについては後日HPにて掲載いたします

### 美術館に関するお問い合わせ

大阪中之島美術館 広報担当：横瀬・中西

E-MAIL：[pr@nakka-art.jp](mailto:pr@nakka-art.jp)

TEL：06-6479-0560（平日10:00 - 17:00）

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1